

## 第23回： 水質環境基準改定に伴う分析法

開催日： 1993年11月29日 / 会場： 「北とぴあ飛鳥ホール」東京都

開催趣旨： 昨年12月に水道水質基準および水質環境基準の大幅な改正が行われ、多くの基準項目が加わりました。これらの項目は今までと比べて、より高度の技術および分析機器を必要とするもので、分析上のテクニック等を十分に理解し、修得した上で測定していくことが重要です。そこで、日本水環境学会では、各分析項目ごとに、分析法作成に関係または精通した方を講師に迎えて、分析方法の中で重要事項等について解説していただくことにしました。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 水質環境基準及び水道水質基準における揮発性有機化合物の測定方法（安藤正典／国立衛生試験所環境衛生化学部）
- 農薬類の試験方法について（土屋悦輝／東京都衛生研究所環境保健部）
- ICP 発光法、ICP 質量分析法による水試料中金属元素の分析（吉永淳／国立環境研究所化学環境部）
- 塩素消毒副生成物（高木博夫／国立環境研究所地域環境研究グループ）
- 排水基準の今後の動向（小林肇／環境庁水質保全局水質規制課）